

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 9 日

事業名称		認知症検診推進事業費（一般会計）〔認知症検診推進事業〕										
予算科目	款	3	一般会計	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業番号	17	
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）											
担当部署・課長名	高齢介護 課 地域包括ケア推進係 係 課長名 伊野宮 崇											
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 2			
【施策名】 高齢者福祉の推進								総合計画書（ページ）	51			
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 当該年度に75歳になる市民（要支援要介護認定者及び認知症の診断を受けている者を除く）					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 認知症検診対象者数 →						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。〔簡潔に〕 認知症の正しい知識や理解をもつ 認知症の早期診断・早期対応ができる					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 東大和市が、認知症の人にも優しく住みやすいまちになる 認知症検診受診者数／認知症検診受診見込者数 6／50（％） →						
	③ そのために何をしましたか。 認知症検診の案内の送付（認知症の正しい知識や理解の普及啓発） 認知症検診の実施					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） ①認知症検診対象者数 ②認知症検診受診者数 ③認知症検診受診見込者数 →						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標		令和4年度目標		
	対象指標	①の数値	人		令和2年度新規事業	730						
	成果指標	②の数値	％			12.0						
	目 標	②の目標値	人			50						
		目標値設定の考え方 対象者のうち、セルフチェック20点以上で受診いただける方を目標値とする										
活動指標	③の数値	人			①730 ②6 ③50							
3 経費	事業費（実績）		円	0	0	1,414,286		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 （退職手当組合負担金、共済費も含む。）				
	財源	一般財源	円			286						
		特定財源（国・都・他）	円			1,414,000						
		（うち受益者負担）	円									
			円									
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	人			0.5						
		所要人数（再任用）	人									
		職員人件費（再任用以外）	円			4,190,000						
職員人件費（再任用）		円										
事業費＋人件費		円	0	0	5,604,286							
4 環境変化等	（1）開始年度		2 年度									
	（2）環境の変化 高齢者人口の増加に伴い、認知症の人も増えている。											

事業名称	認知症検診推進事業費（一般会計）〔認知症検診推進事業〕			
担当部署・課長名	高齢介護課	課	地域包括ケア推進係	課長名 伊野宮 崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ・対象外の年齢年齢だが、認知症検診は受けることはできないか。 ・「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」で20点以下だったから、検診を受診しなくてもよいか。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	令和2年度新規事業			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	・認知症検診受診者が少ない。 ・対象外の者からも検診受診の希望が聞かれる。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 高齢者福祉の推進			
	☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】 認知症検診の普及啓発を行う。 対象者の見直しを検討する。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	認知症検診の実施に合わせて、市報での広報、認知症に関連した相談会の実施等認知症の正しい知識とともに認知症検診の普及啓発を行う。 対象者の見直しについては、早期診断・早期対応の目的を踏まえ、他市の情報収集及び医師会等関係機関との調整を行っていく。			